授業科目名		開講 年次	開講 期間	単位数	授業 形態
精神看護学特論Ⅲ(精神看護倫理・当事者論)		1	前期	2	講義 30時間
担当教員	田中美惠子、畠山卓也				
授業概要	精神看護倫理の基礎理論、当事者論等を学び、精神保健医療サービスのユーザーの権利 を保護し、当事者のリカバリーを支援する看護活動展開のための理論的基盤を養う。さ らに当事者が求める精神保健医療・看護について、リカバリーモデルおよびストレング スモデルを基盤に洞察する。				
到達目標	 精神看護倫理の基礎理論を学び、実践を倫理的観点からみるための基礎を養う。原則論、臨床倫理(手順論)、ナラティヴ倫理を扱うとともに、隔離拘束に伴う倫理について学ぶ。 手順論、ナラティヴ倫理をもとにして、倫理的事例検討を行う。 リカバリーモデル・ストレングスモデルなど、当事者中心のモデルについて理解する。 当事者の手記、当事者の視点に焦点を当てた研究等を読み、当事者体験を理解する。 				
履修条件	特になし				
授業計画	回 内容 担当教員 1-2 倫理理論の基礎:原則論等、基礎的倫理理論について学ぶ。 田中 3-4 臨床倫理・ナラティヴ倫理:臨床倫理とナラティヴ倫理の理論について 田中学ぶ。 5-6 隔離拘束に伴う倫理:隔離拘束に関わる倫理について事例を通して学ぶ。 畠山 - 8 事例検討:手順論を使って、倫理的事例検討を行う。 畠山 - 9-10 事例検討:ナラティヴ倫理を使って、倫理的事例検討を行う。 田中 11-12 当事者論:リカバリーモデルの思潮、概念について学ぶ。 田中 - 13-14 当事者論:ストレングスモデルの理論と応用について学ぶ。 田中 - 15 当事者論:当事者の手記・体験記を読み、当事者体験を理解することの 田中意義について洞察する。				
教科書	特に指定せず。				
参考書	宮坂道夫:医療倫理学の方法 原則・手順・ナラティヴ、第2版、医学書院、2011. 鶴若麻理、麻原きよみ:ナラティヴでみる看護倫理、南江堂、2013. マーク・レーガン著、前田ケイ監訳:ビレッジから学ぶリカバリーへの道、金剛出版、2005. チャールズ・A・ラップ他、田中英樹監訳:ストレングスモデル 精神障害者のためのケースマネジメント、金剛出版、2008.				
評価方法·基準	プレゼンテーション準備度20%、講義および討議への参加度10%、レポート70%とし、 総合的に評価する。				
事前·事後学習	事前に示す資料を読んでくること(1時間程度)。事後には、学んだことをもとに、臨床 での事例について、当事者の視点および倫理の視点から考えてみる(1時間程度)。				
備考	特になし				